

12月度 <small>例会</small> 山行報告書 <small>個人</small>		報告者	竹内幹雄	参加 メンバー	CL:渡辺 勝利 竹内 幹雄
		報告日	12/24		
山域	奥美濃南部	山行日	08年 12月 12日(金) ~		
山名	伊吹山		08年 12月 13日(土)		

山行目的	耐寒雪上歩行訓練	コースタイム(天候:天気図記号)
------	----------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

伊吹山 1377.3m

2.5万分の1地図:

12/12 晴れ
16:10 刈谷発
19:00 登山口
19:50 二合目
20:25 三合目
12/13 晴れ
04:30 起床
06:20 三合目出発
07:05 七合目
07:55 伊吹山頂上
08:25 頂上出発
09:40 三合目
10:15 三合目出発
11:15 登山口

山行報告 夕方、車にて刈谷を出発。名古屋高速、名神高速を走り関が原I・Cから登山口に到着する。寒いと思いついで入山して出発するが20分程歩いたところで汗が始め一枚脱いでみる。懐電歩行も目が慣れてくるにしたがって歩きやすくなってきた。雑木林を過ぎてからは満月の中で月の明かりに照らされて懐電がなくても登山道が判るくらいである。1ピッチ半位で三合目に到着。ゲレンデ横の草原にテント設営。缶チューハイを飲んだ後服を着込み、快適な草の絨毯の「ベッド」でシュラフに潜り、いつの間にか眠りに就いた。朝4時30分起床、味噌煮込みうどんを食べて体が温まる。テントは置いてサブザックに荷物を詰め替え頂上アタックに向かった。期待していた雪はまったくなく夏道を進む。八合目を過ぎたあたりで一人の登山者とすれ違う。「早い時間に出発したのだな」と思った。そこから少し登ったところで頂上に到着した。アイゼン、ピッケルを準備してきたが雪のかけらも見えなかった。しかし、景色は良い。遠くに白山が雪をまとい真白く見える。御嶽山も雪で白く輝いている。しばらく休憩した後、頂上を後に3合目まで降りていく。途中で何人かの登山者と行きかう。テントを撤収して下山開始、1合目ゲレンデ

付近ではパラグライダーの練習を横目で見たりしながら1ピッチで登山口に到着する。その後はふだん立ち寄ったことのない泉神社に寄って名水を汲む。また、天下分け目の関が原の戦いの西軍の将、石田三成の陣所跡の笹尾山を見学し、薬草の湯で汗を流してさっぱりした後、刈谷への帰路に着いた。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



白山遠望

リーダー所見 冬山トレーニングが目的で入山し、多少は雪を期待していたが頂上北面の日陰にさえも、そのかけらもなく、雪上訓練が全くできず残念であった。以前ならば、この時期には暖冬の年でも多少の積雪があるのが通例だが、これも地球の温暖化の影響なのだろうか。我々の身近な所にも「地球規模での環境悪化」が忍び寄っているのかと考えさせられる山行となった

確認(リーダー)
渡辺
08/12/25
作成(報告者)
竹内
08/12/24